

高等学校 令和7年度

教科 地理歴史 科目 世界史演習Ⅰ

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史演習Ⅰ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 詳説世界史探究 （山川出版社） ）

使用教材：（ 最新世界史図説タペストリー（帝国書院） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現と課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して調養される日本国民としての自覚、他国や他文化を尊重することの自覚などについての実感などを養う。

科目 世界史演習Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるように	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	中国の国家体制と活発な交易について理解する。大交易時代のアジア社会について概念的に理解する。	中国史（唐・宋・モンゴル・明・清） 西アジアのイスラーム王朝	（知）中国の各王朝の支配体制、諸地域間の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。（思）主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、中国王朝、西アジアの王朝の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。（学）学習内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的稳定した社会を維持できたのはなぜか、また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。	西アジアのイスラーム王朝 大航海時代	（知）各王朝の相違点と共通点、大航海時代を構造的に理解している。（思）主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、西アジアの王朝、大航海時代の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。（学）学習内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
2 学 期	16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家にはどのような特徴があったのか、また、その形成にはどのような要因が働いていたのかなどについて理解する。	ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大（絶対王政、三角貿易など）	（知）ルネサンスから絶対王政までの流れを構造的に理解している。（思）ルネサンスから絶対王政までについて主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、多面的・多角的に考察し、表現している。（学）学習内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか、また、このような変革は、現代までどのような影響を与えているのかについて理解する。	国民国家と近代社会の形成（アメリカ独立、フランス革命など）	（知）アメリカ独立、フランス革命を構造的に理解している。（思）アメリカ独立、フランス革命について、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。（学）学習内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国はどのように対応したのか、また、ヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかについて理解する。	世界市場の形成とアジア諸国の変容（インド大反乱、アヘン戦争など）	（知）インド大反乱やアヘン戦争などを構造的に理解している。（思）主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、インド大反乱やアヘン戦争などの特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。（学）学習内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		
							合計
							140